

# 令和5年度 ケアラー支援専門員設置事業(神奈川県委託)

## 【小田原地域研修会】アンケート結果報告

【開催日時】2023年11月14日(火)15時~17時30分

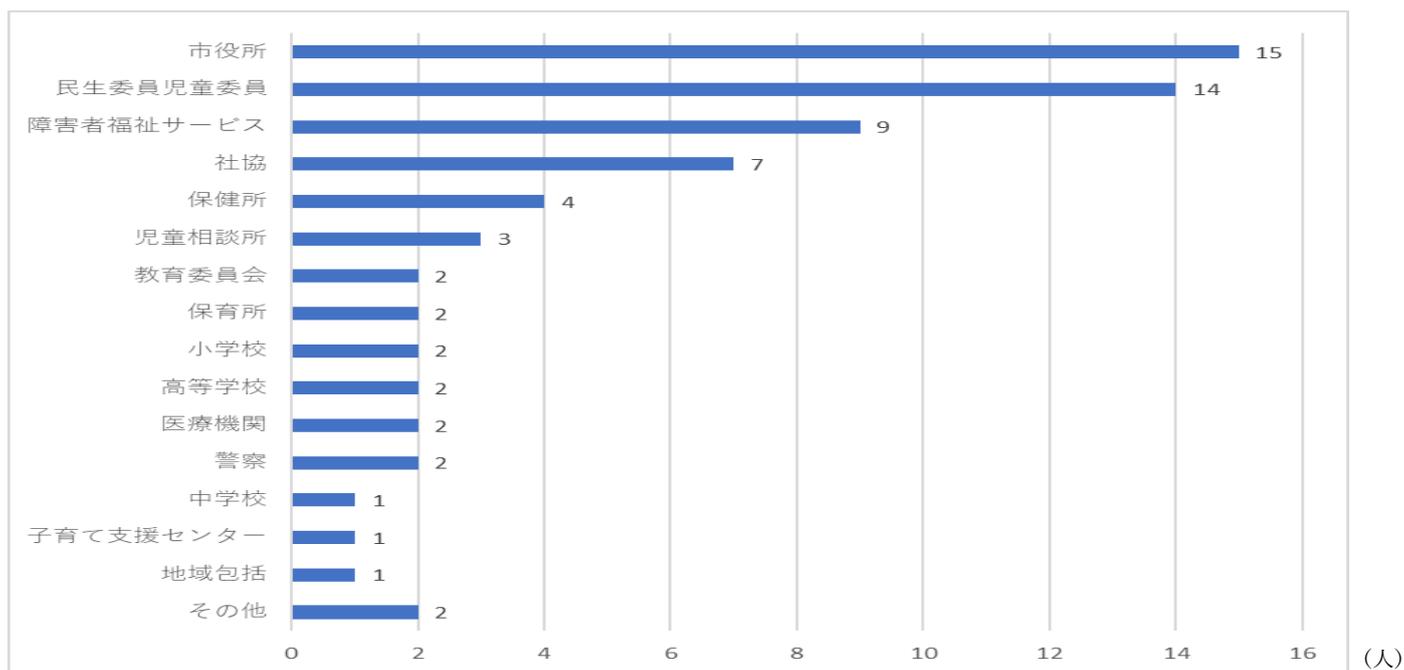
【開催場所】おだわら子ども若者教育支援センター はーもにい

【参加者数】69名 【回答数】69 【回収率】100%

### 1. 所属機関

機関名	(名)	(%)
市役所	15	22.0%
民生委員児童委員	14	20.0%
障害者福祉サービス	9	13.0%
社協	7	10.0%
保健所	4	6.0%
児童相談所	3	4.0%
教育委員会	2	3.0%
保育所	2	3.0%
小学校	2	3.0%
高等学校	2	3.0%
医療機関	2	3.0%
警察	2	3.0%
中学校	1	1.0%
子育て支援センター	1	1.0%
地域包括	1	1.0%
その他	2	3.0%
合計	69	100.0%

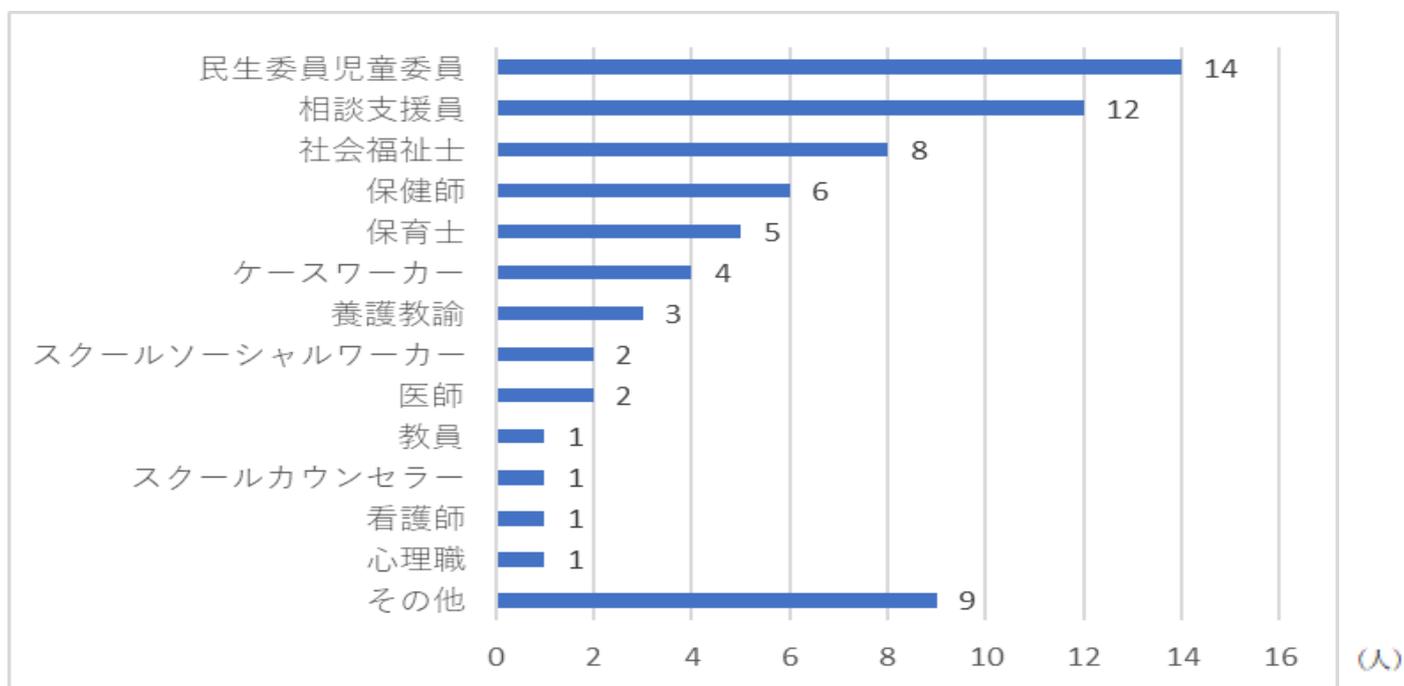
※その他内訳: 児童発達支援センター、児童養護施設



## 2. 職種

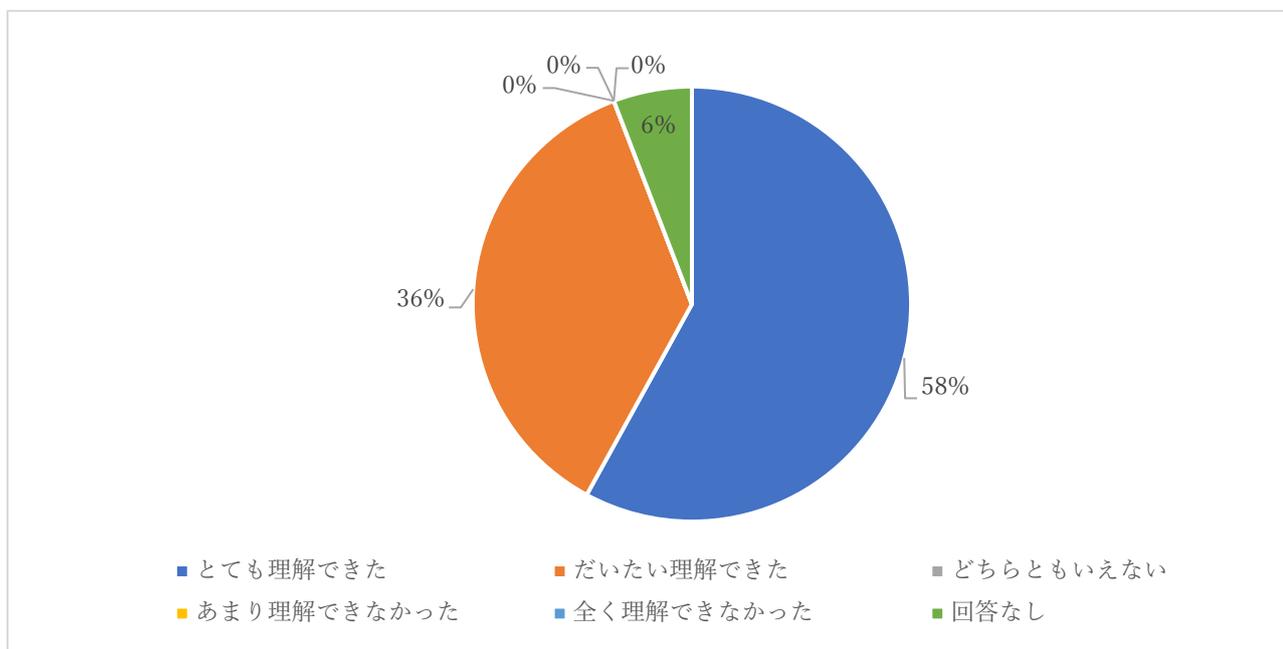
職種	(人)	(%)
民生委員児童委員	14	20.0%
相談支援員	12	17.0%
社会福祉士	8	12.0%
保健師	6	9.0%
保育士	5	7.0%
ケースワーカー	4	6.0%
養護教諭	3	4.0%
スクールソーシャルワーカー	2	3.0%
医師	2	3.0%
教員	1	1.4%
スクールカウンセラー	1	1.4%
看護師	1	1.4%
心理職	1	1.4%
その他	9	13.0%
合計	69	100.0%

※その他内訳: 支援員、生活支援員、福祉職、家庭支援専門相談員、警察官、事務職員(2名)、SV、スクールカウンセラーアドバイザー



### 3. 理解度

とても理解できた	だいたい理解できた	どちらともいえない	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	回答なし	合計
40	25	0	0	0	4	69
58.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	



### 4. 研修会に参加した感想および意見(自由記述)

- ・当事者の話は、とても参考になりました。自分自身の親、子どもとの関係を考えながら聞きました。地域で知り合う子どもの課題のうちにヤングケアラーの問題があるかもしれないという視点を持っていきたいと思いました。
- ・事例、当事者の話の発表がとても実感として大変さ辛さが少しでも分かった。ヤングケアラーの親への支援の実際についても知りたい。
- ・支援につなげることの大切さ、地域からの視点、できる支援を考えていきたいと思いました。リフレクションミーティングの時間は様々な職種の方々と話せる機会なのでとても良かったです。今後も本日のような研修会に参加したいです。ありがとうございました。
- ・ヤングケアラーとアルコール依存のテーマですが、表に出づらい問題をいかに地域で支えていくかが、大切だと思います。まず、支援につなげることが大事だと思います。
- ・経験談をもう少し聞きたかった。カウンセリングの大切さを知ったことが良かった。
- ・当事者からヤングケアラーの実体験を話していただいて良かった。支援する側のセンサー感度を高めておかなければならないと改めて思いました。
- ・ヤングケアラーに対して丁寧な支援が必要であると思いました。
- ・当事者の話。一人ではない自分で抜け出られない→解決できたのはすばらしいと思いました。
- ・各小中高校等でヤングケアラーについて教えてあげてほしい。当事者のお話しに感動しました。帰ったら自分の子どもを抱きしめて「大好きだよ」と伝えたいと思いました。
- ・当事者からの話を聞くことができ大変意義のある研修会だったと思います。同じような形でまた研修できたらうれ

しいです。

・相談できる場所はたくさんある。「一人で悩まないで」と伝える。地域をよく見てたくさんの人の話をよく聞いて気づくこと。これが今の立場にある自分ができることだと思いました。そして、次のサポートにつなげる！（当事者の方、幸せになってね。お子さんは、みんな貴方のことがだいすきですから）

・専門用語等がたくさんあり、ついていくのが大変でした。勉強していきたいと思います。ありがとうございました。

・ヤングケアラーになる前段階としてネグレクトは考えられますか？なかなかヤングケアラーを見て取ることはできない(気づかないだけかも)のですが、明らかにネグレクトではないかという家庭には、関わるがありました。私は小学校の教師であったので、その子たちが中高でどのようになったかは、うっすらと不登校になっているとか高校を中退したというのは、周りの子や本人から聞くことはありました。この研修を聞いたことで「あの子はヤングケアラーになっていたのでは・・・？」と思い当たる子もいます。今でも交流を持っている子達も多いので、これから少しでも役に立てることができれば、あればと思うことができました。民生委員としても地域に心を配っていきたいです！

・色々な立場の方が、同じ方向で仕事ができると良い地域作りや当事者の幸せにつながると感じた。

・当事者のからの話、子ども相談員として自分の気持ちを吐き出せるような声掛けなどとても重要だと思った。

・当事者の話、とても胸に響きました。

・親が意図的にケアをさせている場合と子どもが家の状況を感じてケアをしているような場合があると思います。アプローチの方法・支援内容が全く違ってくると思うので具体的にいくつかのパターンごとに支援方法について学べる機会があると良い

・乳幼児期よりヤングケアラーとして生活している場合、それが当たり前であるためヤングケアラーとしての自覚がない子が多い。その状況は支援が必要だということを理解できるよう大人がまず知識を深める必要性を感じました。

・具体的な対応というより顔の見える関係性から理解者を広げていく大事な機会となったのではないのでしょうか。一人一人が自分のできることから始めることをしなければ、その一人となれるよう意識していきたいと思います。

・どのような視点が必要か、どんな声掛けが必要か、相談対応をする中で必要な心構えを学ぶことができました。当事者の話を聞く機会はなかなかないので貴重な時間でした。

・当事者の話を聞くことができ良かった。お話しされるのに勇気がいると思います。ありがとうございました！家庭内のストレスが子どもに与える影響がよくわかりました。子どもの反抗期が親のストレスになって依存症になる具体例は怖いと感じました。また、県はもっと力を入れるべきだと思います(ケアラー支援専門員を責めているわけではないです)知らないことを知ることができ、大変素晴らしい会でした。

・ACの子どもの特徴についてもっと詳しく知り早期発見、対応に繋がりたいと思いました。

・当事者の話を聞くことができ、支援者としてあるべき姿について知ることができました。どうしても家族の形を崩さず支援することを優先しがちになりますが、本人にとってよりよい環境を整えることが大事になり、そのことが本人を救う事例を知ることができて大変参考になりました。

・当事者のお話を聞いたこと、とても貴重な経験になりました。逆境体験をしながらも強く、深く愛情をもってご自身のお子さんを育てられていること、率直に「すごい！」と感じました。

・当事者の方のお話はとても印象に残った。基調講演は一般的な啓発内容が多いと感じたのでもう少し具体的、専門的でも良いように思う。

・子どもや保護者の少しの変化に早くに気が付き、長期的に支援することが大切であることを学びました。生きていて良いこと、相談できる、話すことができる環境があることを伝え安心感や心強さを感じられるような支援が大切だと感じました。ありがとうございました。

・当事者の話より「生きていていい」と当事者に伝える必要性を再認識しました。施設としてできる地域貢献は何か

考えていけるといいと思います。

・当事者の話はとても参考になり、本当に貴重な話が聞けたと思う。警察としてヤングケアラーの子をどうサポートできるか考えていましたが、虐待や夫婦喧嘩で取り扱いがあった際、ヤングケアラーを見つけたら速やかに兇相につなげてきたい。田淵先生の話であった介入ツールなど使えたらいいなあと思いました。絵もかわいくて話がわかりやすかったです！

・身近な問題でまずは、現状を知ることができた。知る→つなげるという認識を持ち日々の仕事、生活上でも活用したいと思います。ありがとうございました。

・研修会を通じて自分がこれまで関わってきた患者さん、ご家族の中にいたかもしれないヤングケアラーについて思いをはせました。

・「行政に相談したことがない」方が大多数だということが大変ショックでした。どう働きかければ必要な方に情報が届くか考えていかなければならないと強く思いました。

・当事者の方より支援者にどうしてもらったら良かったかお話を聞くことができたのが良かったです。

・当事者の方からのお話を聞けたのが貴重でした。ありがとうございました。

・本人は、ケアラーではないと思っている方がいること。ご近所付き合いがない今、「おせっかい」って「いってらっしゃい」「気を付けてね」の繰り返しからやっ払いこうと思いました。

・当事者の話「一人だけじゃない」と知れたことが今後の人生が豊かにしていくことを知り大切なのだと思った。色々な人の話を聞いて良かった。

・机上だけの研修でなく生の声が聞けたことがないよりです。

・当事者・支援者からの話はとても貴重で参考になりました。また、今回のような関係機関で集まって意見交換ができればと思います。

・過度なケア負担が子どもの育ちに影響を及ぼすことは明らかであるにも関わらずヤングケアラーに対する支援について考えが及んでいなかったことを反省しました。子ども自身が何を望んでいるのか、親の状況、家庭の状況が親の認識とズレていないか、ズレていれば調整することは可能なのか考えながら業務にあたりたいと思いました。

・色々な方の意見が聞いて良かった。

・周りの関わる人がいること、同じ境遇の方がいることを当事者の方が知る機会を作ることが大切だと感じました。支援職として私たちがどれだけ気付ける大人でいられるかを大切にしていきたいと思いました。

・多職種の方とお話ができて参考になることが多かったです。

・アルコール依存や摂食障害・ヤングケアラーの問題など地域の中にあるものの中で様々な問題が解決するきっかけになればと思いました。

・ヤングケアラーについて知る機会になりました。当事者である子どもの困り感がない場合はどのように支援していけばよいのかと言う所がもう少しわかってくと良いなと思いました。

・なかなか聞けない当事者の話など貴重なお話をきくことができました。ありがとうございました。

・短い時間の中でしたが、たくさんの内容をどうもありがとうございました。

・色々な立場の方々と話ができて、自分にはない視点や考え方を知る良い機会でした。

・当事者の方のお話がとても印象に残りました。ヤングケアラーの支援に正解はないと感じますが、地域で支えあえる体制を作っていけると良いと思いました。研修の企画などありがとうございました。

・当事者の方とその方の支援者の方のお話を聞けたことが印象的でした。アルコール依存症などの依存症のケアラーについてこれからも学んでいきたいです。

・当事者のお話が良かったです。お子さんに「いっぱい愛情表現をしてあげたい。愛しているよ。大切だよ」と言ってあげているという言葉はお子さんにとっては何よりのプレゼントだと思います。すべての子どもたちに必要なこと

と思われました。

・当事者の方で相談することは難しいと感じる方も多くいらっしゃると思います。相談することは、必要なことで少しも恥ずかしくないということが皆さん伝わればよいと思います。

・医師、当事者の話を聞いたことは有意義でした。対応は難しいと思いますが、ヤングケアラーかもと言う視点を持ち日々業務に努めます。

・ヤングケアラー、ケアラーが自分の気持ちを発信できるように働きかける必要があると感じました。地域でのつながりが大切だと思います。

・ヤングケアラーは、いるのかな？という視点を持ちたいと思います。

・難しい課題だからこそ考える機会の今回の研修のような場が福祉職以外の場でも多くあるといいと思いました。

・当事者の話は、大変貴重な内容でした。グループ内でも同じような経験をされたメンバーもいたのでグループ内でより深められたと思います。学校の立場で何ができるのか、今年度 SOS を出せない子も取りこぼされないような支援を目指しているので、気づいた先、サービスにつながらない SOS をどう支援するのか、地域の力、民生委員、社協の方々との連携が必要だと感じました。

・大変有意義な研修会でした(全国調査や神奈川県内のヤングケアラーの状況がよくわかりました)

横浜いずみ学園の田淵先生の研修も大変参考になりました。年に2回程度研修会をお願いします。

今回の情報は、スクールカウンセラーアドバイザーから教えていただきました。教育事務所にも次回はお知らせください。

・継続的な企画を期待します。

・武田先生の「生きてほしい。生きていいんだよ」と伝えるという言葉が印象的でした。具体的な支援をすることが一番だと思いますが、見守り、いつでも相談、生きていいんだよというメッセージを子どもたちに送り続けたいと思います。勉強になりました。ありがとうございました。

・様々な業態の方の職務や連携について知ることができた。そのつながりが今後広がるのが大切だと改めて感じた。この様な会がまた、開催されることを期待します。

・当事者及び支援者のお話を聞いたことはとても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

・当事者の方の話が有意義でした。多職種他機関の方々とのミーティングは良かったと思います。気づくことから支援が始まると思うと色々な立場の方と情報共有していく場が必要だと思いました。